ボーリング柱状図

※本資料はふ頭建設時（昭和30年代）の調査結果です。

調　査　名

事業・工事名

ボーリング名	No.9	調査位置				北　緯	
発注機関				調査期間		東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP -2.90m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機		ハンマー落下用具	
総掘進長	22.30m								エンジン		ポンプ	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
	-3.30	0.40	0.40		シルト	黒			泥土			0.40 / 0.70				1/30	1							
1																								
2																								
3					シルト質細砂	暗青灰						2.90 / 3.20				3/30	3							
4																								
5	-8.35	5.05	5.45																					
6												5.60 / 5.90				6/30	6							
7																								
8					細砂	暗青灰						8.10 / 8.40				7/30	7							
9																								
10	-13.50	5.15	10.60									9.85 / 10.15				11/30	11							
11					砂質シルト	暗青黄灰						11.00 / 11.30				39/30	39							
12	-15.00	1.50	12.10																					
13												12.90 / 13.20				24/30	24							
14					シルト	暗青灰						14.15 / 14.45				47/30	47							
15																								
16	-19.35	4.35	16.45																					
17	-19.90	0.55	17.00		細砂							16.65 / 16.95				56/30	56							
18																								
19					シルト	暗青灰						18.50 / 18.80				55/30	55							
20	-23.00	3.10	20.10																					
21					中砂	暗青灰						20.60 / 20.90				61/30	61							
22	-25.20	2.20	22.30																					
23																								